

山口県男児行方不明を考察する

鑑定日：平成30(2018)年8月14日

去る8月12日、山口県周防大島町にて曾祖父宅に家族で帰省中の大島理稀ちゃん(2)が、祖父と兄と海へ向かう途中に一人行方不明となる出来事がありました。何方も安否を心配され、無事に発見された報道には安堵で胸を撫でおろされたかと存じます。

行方不明時 平成30年8月12日午前10時半頃 戊戌年 庚申月 丙子日 癸巳時
無事発見時 " 15日午前6時半頃 " " 己卯日 丁卯時

まず、四柱推命により考察してみます。

理稀ちゃん 平成28年8月13日生(時間不明) 男命

大運	日	月	年
丙申	丁卯	丙申	丙申

理稀ちゃんの命式から推察していきますと、申月生まれで丁火退気、柔弱となり日干には甲木の生が必要です。

大運丙申は申が日干を弱くしており、行方不明時の流年は乾いた土で力にはなってくれない相生関係(戌と日支卯が支合でお互い本来の力を発揮してくれない)・流月は強い金で日干を弱め・日は丙子で子が日干を弱め・時間のみ癸巳の十二支火があります。

命式中の卯と丙1つが日干にとって役には立ちますが、丙は根がありません。それゆえに行方不明時は運勢的に自身が弱くなっております。

また流年戊は丁からは通変星が傷官で事故・トラブルとなり、理稀ちゃんの命式の年干・月干の丙2つより気持ちに変化しやすい特徴と、それらの通変星が劫財で親の影響を受けないという一面が現れ、海へ向かう途中で一人引き返したものとも考えられます。

発見が期待出来ますのは、自身の日干丁火が強くなる木気・火気の日時です。しかし、寅は年柱、月柱の申より沖で剋されますのでほとんど力の無い木となってしまいます。

よって、卯・巳・午・未日時と推察されます。

次に干支九星で考察します。

不明・発見共に日時鑑定盤を起こします。

不明 日盤

時盤

発見 日盤

時盤

丁丑 八	辛巳 ^ア 四 破	己卯 六
戊寅 七	丙子 九	癸未 二
壬午 三	庚辰 五	甲申 一

甲午 三 ^ア	戊戌 八	丙申 一
乙未 二	癸巳 四	庚子 六
己亥 七	丁酉 九	辛丑 五 破

庚辰 五	甲申 一	壬午 三
辛巳 四	己卯 六	丙戌 八 破
乙酉 九	癸未 二	丁亥 七 ^ア

戊辰 五	壬申 一	庚午 三
己巳 四	丁卯 六	甲戌 八 破
癸酉 九	辛未 二	乙亥 七 ^ア

小児なので月命でみます。気学では九星を重視しますが干支九星は十二支が吉凶を出します。不明時の日盤申は乾宮に一白と廻座し隠れ事象。時盤乾宮に流しますと破れで五黄丑が廻座して、迷子・霊的な事・纏れとみます。時盤申は坤宮で距離的に近い・霊・先祖と読みます。

重要な安否は時盤申が定位に廻座していることにより最悪の事態は免れるとみます。

では何処へ行ったのでしょうか。時盤申坤宮で方向性は西南か東北とみます。

では何時発見されるのでしょうか。幼児ですので緊急を要します。月命申が離宮に廻座した時、離宮事象の明らかになる・表面化が現れます。

結果、同月15日6時半から7時までの間に、曾祖父宅からみて東北の近くの山で発見されました。不明日時盤の対冲星は二黒で霊・先祖です。お盆時に霊に惑わされ、先祖に守られなければ幼児が山中で何も食わずに三日間も過ごせなかったのでしょうか。